

第一回 昭和橋景観検討委員会

日 時：平成30年9月6日（木）16時30分～18時30分

場 所：住田町役場 1F 町民ホール

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員の紹介
- 4 昭和橋景観検討委員会設立趣意書（案）、規約（案）の説明、承認
- 5 委員長選任
- 6 議事
 - ① 設計プロセスの提案
 - ② デザインコンセプトの提案
 - ③ 架橋位置及び幅員構成の提案
 - ④ その他
- 7 閉会

第一回昭和橋景観検討委員会 会議結果

次第4. 昭和橋景観検討委員会設立趣意書（案）、規約（案）の説明、承認

〈委員〉

昭和橋景観検討委員会規約（案）は、いつからの施行か？

〈事務局〉

本日より施行する。

次第5. 委員長選任

〈司会〉

事務局に提案があれば提示願います。

〈事務局〉

柴田先生に委員長をお願いしたいと思います。

〈司会〉

委員の皆さま、特にご異議がないのであれば、拍手で承認願います。

拍手。

次第6. 議事

〈柴田委員長〉

- ・ 防災、交通の安全面だけでなく、日常的に使うための適正な規模の構造物を計画することが重要。
- ・ 大きすぎる構造物の計画は、建設費や建設後の維持管理が足かせとなることがある。
- ・ 世田米の美しい街並みに見合った、きれいな橋を作ることが重要。

（1）設計プロセスの提案

●第1回昭和橋景観検討委員会配布資料（以下、「配布資料」という。）P1により、事務局が説明。

〈質問：委員〉

今説明いただいたのは、詳細設計が来年の今頃に終わるとのことだが、その後の建設等のスケジュールは？

〈回答：事務局〉

用地取得の説明会、用地取得の調査等、半年から1年かかる。実際の工事は現在スケジュール調整中だが、川の中の工事なので、台風時期はできない、アユの時期も工事できない等制約があり、一気に下部工工事ができないので、3年程度はかかる。できるだけスケジュールを詰めたいたとは考えている。

(2) デザインコンセプトの提案

●配布資料 P2～P15により、事務局が説明。

〈質問：柴田委員長〉

昭和橋のコンセプトに「美しい橋」といったものは入れられないか？

〈回答：事務局〉

美しい橋という表現として入れなくても、この橋の特徴として非常に地域住民に愛されている橋だと感じたので、提案したコンセプトの中で美しい橋を含むものとして提案している。

〈質問：委員〉

上位計画にあたる町で策定した中心地域活性化基本計画（PPT、P8）では、③に昭和橋・石垣を含む蔵並みの保全と気仙川石垣護岸の景観形成や、まちづくり構想図の中にも護岸自然石等の記載があるが、橋梁周りの景観形成についてはどのように考えているのか？

〈回答：事務局〉

町の上位計画（親水公園、石垣）は、昭和橋の計画が始まる前に策定したものであるため、これから委員会で詰めていければと考えている。

〈質問：委員〉

そうすると、活性化基本計画での記載は中身が確定したものではなく、これから詰めていくという認識でよいか。

〈回答：事務局〉

そのように理解してもらって問題ない。

(3) 架橋位置及び幅員構成の提案

●配布資料 P16～P21により、事務局が説明。

〈柴田委員長〉

配布資料の19ページを確認しながら議論したほうが良い。

〈委員〉

幅員構成比較表の最終ポイントで③が優れていると説明があったが、景観性でいうと、①から④が同じ評価となっているが、①から②は現行の幅員構成であり幅員をいじらないでよいため、適度なスケールという点で景観性が高いと考える。そうすると、①から③までが同じポイントで並ぶので、その辺を慎重に検討したほうがよい。

〈回答：事務局〉

委員の意見はもっともですが、どの幅員から点数を変えるかを決めなければならないという考えから、このような配点にした。

〈委員〉

抽象的ではあるが、私としては児童の安全性を考えて進めていければいいと思っている。昭和橋は住田町のシンボルである。欄干等が細部に渡って素晴らしいものだということを、今の事務局の説明を受けて再認識した。また先日、岐阜からいらした60代の女性が昭和橋を見た時に、先人への感謝と手づくりの感じがすると感想を述べられた。本当にその通りだと感じている。そのため安心安全を第一に、しかも景観を大事にするという趣旨で進めていただければいいと思う。

〈質問：委員〉

橋の幅員について確認だが、町に向かって行ったときに、橋を渡ったあとで道路の幅は狭くなるのか等がわからないので教えてほしい。また沿道影響の対象家屋には、空き家の数も含まれているのか？

〈回答：事務局〉

現道の幅については、地権者の用地協力が必要で、橋の架け替えと同時に広げたい。沿道影響の対象家屋は空き家を含めた件数である。

〈質問：委員〉

東側と西側の現状の道路幅員はそれぞれ、どれくらいか。

〈回答：事務局〉

右岸側の川向側で5、6 m程度。左岸側で4、5 m程度。

〈質問：委員〉

右岸側というのは、役場と消防署のところか？それとも橋詰か。

〈回答：事務局〉

橋詰の部分である。

〈質問：委員〉

幅員決定に関しては、橋詰だけでなく接続する道路の幅との調整がいるのではないか。いま推奨されている幅員（幅員構成比較表③案）だと、橋詰の幅員を拡幅する必要があると思うが、考え方はあっているか。拡幅する覚悟があるのか。それとも、橋だけ広くて、両側は狭い状況とするつもりか。

〈回答：事務局〉

ご指摘の通り現道が狭いので、それに沿うように道路幅を確保したい。

〈柴田委員長〉

つまり橋を広げるということは周りも広げる必要があるということで良いか。費用はその分かさむが、その辺も認識して実施するということか。

〈質問：委員〉

歩道の位置は南側を想定しているようであるが、理由は。

〈回答：事務局〉

地権者との調整が必要。役場のあたりは歩道が北側にあるので北側がいいとは思いますが、用地含めて今後調整していく。

〈質問：委員〉

橋の景観が上流側からが素晴らしいというのであれば、歩道は下流側の方がいいのでは。合わせて事務局に問いただしたい。1車線+歩道と話があったが、この形で進めるとなると、3軒家屋の内、2軒は住んでいると思うが、家屋の用地取得等の折衝はどの程度進んでいるか？

〈回答：事務局〉

本委員会で方針がまとまった段階で用地交渉を進める。

〈質問：委員〉

地権者の協力を得ると道幅が広がるが、現在の清水橋は歩道があり、2車線+片側歩道である。これを踏まえると、考え方によっては、2車線+歩道の整備も考えられると思うが、その辺の考え方はどうなのか。利便性でいえば、車と歩行者の両方ともよくなるが。

〈回答：事務局〉

2車線+歩道も検討した結果、1車線+歩道とした。

〈柴田委員長〉

最初に説明したが、大は小を兼ねるということで、大きすぎるものを作らないことも委員会の目的だと思う。交通計画の観点からは、歩道と車道が分離していると安心感より車両速度が上がってしまうことにも留意が必要。

〈質問：委員〉

過去に現状幅員で事故はあったのか。幅員の拡幅方法は南側か北側か両側か、その辺の考え方は。

〈回答：事務局〉

地権者との調整が大前提なので確定ではないが、歩道が上流側と考えると、上流側に拡幅する方針がいいと考えている。事故はなかったと聞いている。

〈委員〉

事故はなかったが、子供が一行でならんで進んだり、ひやりとしたりしている部分はある。ゾーン30でゆっくり走ると車の音に気が付かず危ないので、やはり歩道はあった方がよいと思う。

〈委員〉

子供達と車の話もあるが、人口が減っている中、いまから80年先の暮らしを考えるべきで、その方法はいくつかあると思う。アンケートには、車が安全に通れる、人が安全に通れるとあるので、事務局はその辺を踏まえて幅員構成を決定していると思う。今の昭和橋のいいところは譲り合って安全に運用しているということなので、昭和橋は機能的・物理的に分離するといった機能的な面から考えるのではなく、「人間優先橋」として、景観、住田町らしさ、アイデンティティを考えていかないといけないと思う。未来に何を残すかを考えることが重要では。もちろん安全性は大事だが、人中心に考えた橋にすべきだし、②の1車線を中心に検討すべきだと思う。

〈委員〉

子供を預かる身としては、交通弱者や老人にとっては世田米駅と役場とをつなぐ大事な道なので、安全性、利便性、景観どれも大事だが、やはり安全と利便性を第一に確保したうえで次に景観、とすべき。気を付けるといっても色々な子供がいるので、必ずしも安全が確保できるとは限らない。役場側と世田米駅側とをつなぐ道なので、救急車・消防車・コミュニティバスは通して欲しい。

〈質問：柴田委員長〉

どの意見ももつともである。委員長としては、②と③で議論が集中していると思う。②だと景観性は良いが安全性に課題がある、③だと安全性はよいが、景観性や取り付け部の拡幅等が課題である、といったメリットデメリットがある。この2案で検討を詰めて次回委員会で議論してはどうか。

〈委員〉

車両を通行させると、高欄が太くなるので景観的には望ましくない。①'の昭和橋を歩行者専用道路できれば高欄を繊細にすることができる。検討に加えてはどうか。

〈回答：柴田委員長〉

それでは、①'、②、③の3案を再度、内容精査して、次回委員会で議論することとする。

〈質問：委員〉

家屋のないところを縫うようにして、道路を検討することも考えられないか？

〈回答：事務局〉

幅員を考えると、家屋のないところを縫うことは難しい。また橋長も伸び、橋の工事費が高くなる。

〈委員〉

現行ルートを前提として、護岸の高さや橋長は親水性等を考慮して丁寧に検討してもらいたい。

〈質問：柴田委員長〉

架橋位置については、事務局提案の現況位置として、親水性等を考慮して今後進めていくということによいか。

〈回答：委員全員〉

異議なし。

(4) その他

〈事務局〉

次回委員会の日程をできればこの場で決定したい。11月下旬頃でいかがか。

〈委員〉

11月下旬だと都合がつかないので出席できないが、自分が欠席でもやむを得ない。

〈柴田委員長〉

この場では決定できないので後日調整とする。

〈委員〉

多くの町民にも傍聴してもらうためにも夜開催にできないか。

〈柴田委員長〉

夜を含めた時間調整をする。

〈委員〉

橋の名前は昭和8年に建設したから昭和橋だが、橋名をどうするか。機銃掃射の跡をどう残していくのか。護岸のデザインの問題が橋そのものよりも問題ではないか。欄干の高さが現在の基準では足りないと思うがどうなのか、等、次回以降説明ももらいたい。

〈質問：委員〉

冒頭、情報公開と言っていたが、本日の委員会は、どのような形で住民に公開するのか。

〈回答：事務局〉

議事録を残して公開する。「住田整備だより」という広報があるので、そのような紙媒体や事務所HPで発信する。

〈柴田委員長〉

こうした議論のプロセスを公開していくことそのものが重要である。

—終了—